

令和8年度都立東村山西高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「読むこと」「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・「おーいお茶」作品応募 ・主体的で対話的な深い学びへの指導に関する言語活動の取り組み	・各単元において、記述力を高めレポート課題に取り組む ・テーマごと的小論文課題の取り組み ・ICT機器を活用した「話し合うこと」についての指導方法の開発
社会	・社会的な見方、考え方による思考力、判断力、表現力の育成 ・基礎的な地理、歴史の知識・技能の習得	・ICT機器を活用した効率的な学習 ・ワークシートや補助教材を活用した史資料の読解 ・補助教材や小テストによる学習内容の定着と可視化	・ICTを活用した学習成果の発表 ・グループでの協調学習による学び合い ・定期考査で資史料や新聞の読み取りに関する出題の実施
数学	・数学的な見方 ・考え方を働かせた数学的活動	・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・実験や観察を充実させ興味関心を育てる授業を実施 ・ICT機器の効果的な活用の促進	・探究の方法やレポートのまとめ方について学習 ・「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施
保健体育	「協力・あらゆる運動を楽しむ力・達成感」をテーマに体育、保健活動の充実	・ルールを守り、自他を大切にできる態度を育成する ・人と協働する活動の充実 ・様々なスポーツに参加し、楽しめることを重視する ・授業内で自ら挑戦し達成できる目標設定ができる	・3年生で一人一人が教育実習生のように「授業を計画、実践、振り返り」ができるようになるために段階的に指導を行う。
芸術	自己表現活動の指導の充実	・自己の表現活動や作品制作に対する振り返り活動を行い、自己理解を深める授業を実施	・他の人とお互いの作品の批評しあったり、一緒に表現活動をしたりするなど、協働的な学習活動を行う授業の実施
英語	「聞くこと」「話すこと」の指導の充実	・ESAT-Jの結果を活用するとともに、小テストや週末課題を通して生徒の課題を把握し、生徒の課題に合わせた授業の計画 ・年間に10回パフォーマンステストを実施 ・JET・ALT を効果的に活用し「わかる授業」を実践	・実用英語検定の受検促進と対策講座、二次試験対策個別指導 ・デジタル活用端末を活かした家庭学習 ・Tokyo Global Gatewayへの参加奨励
家庭科	自立した社会人として必要な知識および技能の育成	・生活の主体者としての視点を育成する授業の実施 ・被服実習、調理実習等、体験を通じた知識及び技能の育成	・意見発表や意見交換を通して、自らの考えを相手に伝える力や相手の考えを尊重する態度を育成する
情報	情報化社会に対応して学び続ける力の育成	・授業後に小テストを行い、授業内容の定着を図る ・ICT機器を正しく利用した授業の効率化	・授業でグループディスカッションを行い、話し合った内容を改めて自分の言葉で表現させる(小テスト)